



## 研究参加施設の募集

# 慢性腎臓病患者の保存期食事療法が 腎機能低下抑制に及ぼす効果についての多施設研究

研究責任者：菅野 義彦（東京医科大学）

研究担当者：北島 幸枝（東京医療保健大学）

### 【研究概要】

慢性腎臓病（CKD）ステージ G3a（GFR45～59 ml/分/1.73m<sup>2</sup>）および 3b（GFR44ml/分/1.73m<sup>2</sup>以下）以降の患者の食事指導経過を観察し、腎機能低下速度の抑制や透析導入の遅延をもたらす適正なたんぱく質摂取量と栄養状態維持に必要な適切なエネルギー摂取量を明らかにすることで、エビデンスに基づいた CKD 食事療法の確立と食事療法基準の改訂に貢献することを目指す。

### 【研究デザイン】 前向きコホート研究、層別化研究

【研究期間】 2016年6月29日（東京医科大学倫理審査承認日）～2020年9月30日

【登録期間】 2016年6月29日（東京医科大学倫理審査承認日）～2018年9月30日 【追跡期間】 登録後2年

【研究対象者】 管理栄養士が食事指導を実施している CKD ステージ G3a 以降の患者

対象者は、登録時に食事指導を始めている患者も含む

### 【研究方法】

研究に参加登録した管理栄養士または医師等が、継続した栄養・食事指導を実施している対象者の指導開始時（登録時）、開始後（登録後）3か月、6か月、12か月、24か月の調査項目の経過を UMIN 症例システムへ入力する。研究代表者等は、収集したデータを解析・検証する。

### 【調査項目】

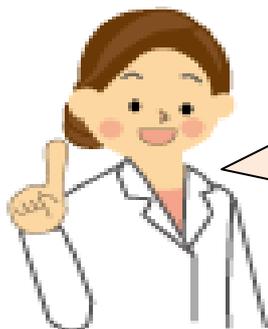
**必須項目** \*：チェックのみ

- ①患者基本情報：年齢、性別、身長、体重、合併症\*、現病歴\*
- ②指示栄養素量：エネルギー、たんぱく質、食塩
- ③臨床検査：Hb、UN、Cr
- ④摂取栄養素量：エネルギー、たんぱく質、食塩（食事調査は各施設の調査方法で実施。方法は別途確認）
- ⑤薬剤の有無\*：アンジオテンシン変換酵素阻害薬、アンジオテンシン受容体拮抗薬、利尿薬

### 【募集方法】

本研究は、大学病院医療情報ネットワーク（UMIN）のインターネット医学研究データセンター（INDICE）のサービスを利用した登録システム（プロジェクト名：LPD01）を用い、データ管理を行います。本研究に賛同する方は、研究代表者 北島幸枝（y-kitajima@thcu.ac.jp）までご連絡をお願いいたします。

詳しくは、研究会ホームページ <http://www.jsrnm.jp/research.php> をご確認ください。



私たち管理栄養士が  
普段行っている栄養指導を形にする研究です。  
現行の食事療法を再評価し、患者個々に応じた栄養療法の提案  
のために、研究へ一歩踏み出しませんか？管理栄養士から有益な成果  
を報告しましょう！他職種の方はぜひご施設の管理栄養士へご案内く  
ださい。本研究は登録症例数が多いほど正確な検証ができます。  
ぜひ、本研究にご参加ください。

本研究に関するお問い合わせ先：日本腎栄養代謝研究会 常任幹事  
北島 幸枝（東京医療保健大学）  
e-mail：y-kitajima@thcu.ac.jp